

信經

我信ず 一の神父全能者 天と地 見ゆると見えざる萬物を造りし主を

又信ず 一の主イイススハリストス 神の獨生子 萬世の前に父より生まれ光よりの光眞の神よりの眞の神生まれし者にて造られしに非ず父と一体にして萬物彼に造られ我等人々の爲又我等の救の爲に天より降り聖神及び童貞女マリヤより身を籍り人と爲り我等の爲にポンテイイピラトの時十字架に釘うたれ 苦を受け葬られ第三日に聖書に應ふて復活し天に升り父の右に坐し光榮を躡して生ける者と死せし者を審判する爲に還た來りその國終りなから

んを

又信ず 聖神主生命を施す者父より出で父及び子と共に拜まれ讃められ預言者を以て嘗て言ひしを

又信ず 一の聖なる公なる使徒の教會を

我認む 一の洗禮以て罪の赦しを得るを

我望む 死者の復活並に來世の生命を。 「アミン」

天の王

天の王慰むる者や眞實の神在らざる所なき者 満たざる所なき者や萬全の寶藏なる者生命を賜ふの主や來て我等の中に居り我等を諸々の

穢けがれれより潔いさぎよくせよ至善者しぜんしやや我等われらの靈たましいを救すく
い給たまへ

天主經

天てんに在います我等われらの父ちちや願ねがはくは爾なんぢの名なは聖せいとせられ
爾なんぢの國くには來きたり爾なんぢの旨むねは天てんに行おこなはるるが如ごとく
地ちにも行おこなはれん我が日用にちようの糧かてを今日こんにち我等われらに與あた
へ給たまへ我等われらに債おひめある者ものを我等われら免ゆるすが如ごとく我等われら
の債おひめを免ゆるし給たまへ我等われらを誘いそいに導みちびかず猶なほ我等われら
を凶惡きようあくより救すくい給たまへ。

蓋國けだしくにと權能けんのうと光榮こうえいは爾なんぢに世世よよに歸きす。「アミ
ン」

エフレムの祝文

主しゆわ吾わが生命いのちの主しゆさい宰さいや怠惰おこたりと愁悶もだえと陵駕しのぎと空談むらとの
情こころを我われに與あたふる勿なかれ
貞操へりくたりと謙遜こころへと忍耐あいと愛こころの情われなんぢを我ぼく爾ひの僕に
與あたへ給たまへ
嗚呼あゝ主王しゆおうや我われに我わが罪つみを見み我が兄弟けいていを議ぎせざる
を賜たまへよ
蓋けだし爾なんぢは世々よよに崇讚あがめほめらる「アミン」
神かみや我罪人われざいにんを淨きよめ給たまへ

常に福

常に福にして全く玷なき生神女 吾が神の母
なる爾を福なりと稱ふるは眞に当れりへ
ルウイムより尊くセラフイムに並びなく榮え
貞操を壊らずして神言を生みし 實の生神女
たる爾を崇讃む